

HIRANO TECSEED Co.,Ltd.

第93期 株主通信

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

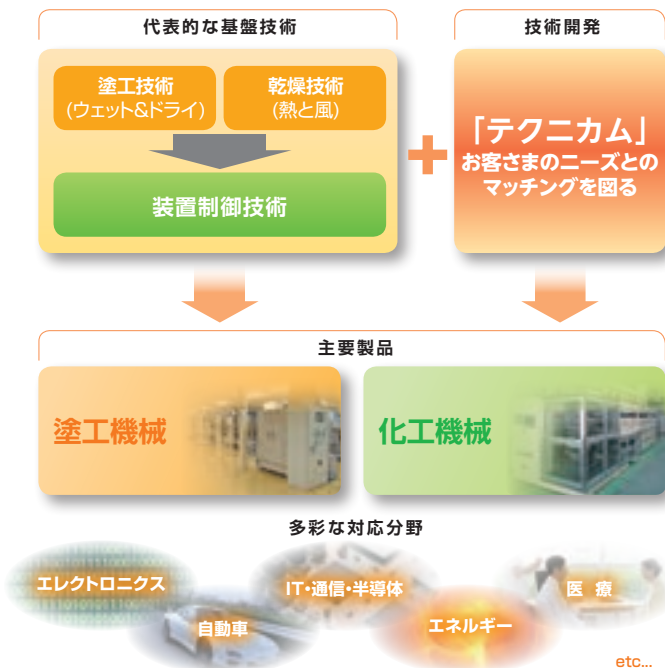
証券コード | 6245



株式会社 ヒラノテクシード

株主の皆さまへ

「塗工」「乾燥」「制御」の技術を融合させ、幅広い産業に欠かせない製造装置をお届けしております。



当連結会計年度におけるわが国経済は、経済・財政政策の効果などを背景に企業業績が堅調に推移し、設備投資額も増加傾向となりました。個人消費につきましては、物価上昇懸念で消費マインドは本格的な持ち直しに足踏み状態の一面も見せるなど、不安定な状況ではありますが、所得雇用環境の改善が続いており、国内景気の見通しは明るさを見せております。

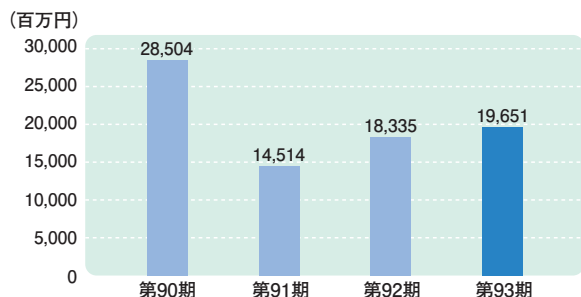
海外におきましては、米国では新政権の政策に対して様子を見る動きがあったものの、雇用環境の改善や物価も上昇に動くなど、回復基調に推移いたしました。一方、中国や新興国におきましては、景気の減速懸念に伴う設備の過剰感や不安定な中東情勢もあり、為替等にも警戒感が残り金融市場は不透明な状況でありました。

このような状況のもと当社グループは、徹底した品質管理のもと価値ある技術を創出し続けるとともに、新しい提案や短納期への要望にもお応えするため、「生産性の更なる向上」をスローガンに構造改革を推し進めてまいりました。

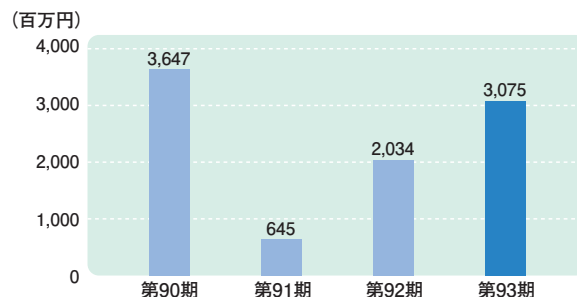
その結果、売上高は19,651百万円(前期比7.2%増)となり、利益面では経常利益は3,075百万円(前期比51.2%増)、親会

連結業績ハイライト

売上高



経常利益



「Wet & Dryのコーティング装置」で世界トップクラスの企業として、企業価値の一層の向上をめざします。

社株主に帰属する当期純利益は2,281百万円(前期比71.5%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、国内は、引き続き所得雇用環境の改善に下支えられ、個人消費は底堅く推移すると思われま。また、世界経済においては、新興国での経済成長の減速懸念や原油安による資源国への影響など不透明感もありますが、米国や欧州では雇用も安定し内需の拡大が期待できることから、比較的堅調に推移すると思われま。

当業界につきましては、引き続き電気・電子部材関連及びエネルギー関連を中心に新規設備投資意欲が堅調であり、需要が見込まれます。

このような状況のもと、『生産性の更なる向上』をスローガンに顧客満足度の向上、新技術開発、新市場の開拓に注力してまいります。

現段階では、次期連結売上高は20,000百万円、連結経常利益は2,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,450百万円を見込んでおります。



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

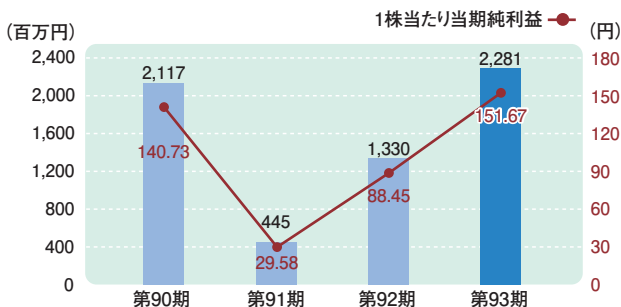
さて、第93期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の決算を終了いたしましたので、その概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

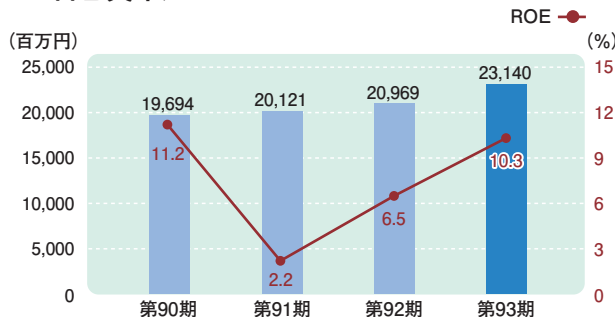
平成29年6月

取締役社長
岡田 薫

親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



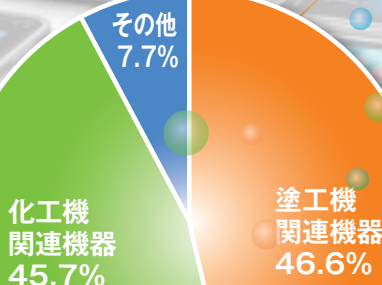
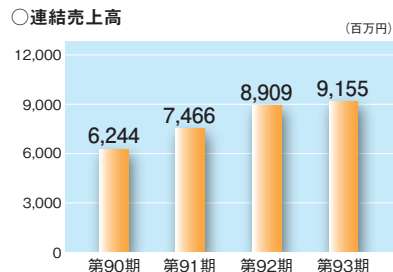
自己資本 / ROE



セグメント別状況

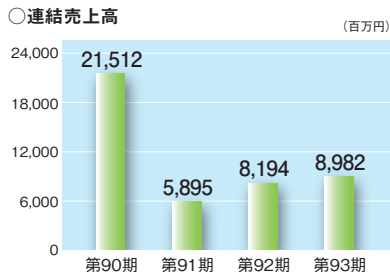
塗工機関連機器

各種コーティング、ラミネーティング装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置



化工機関連機器

各種成膜装置、不織布・高性能繊維製造装置、フラットパネル塗布乾燥装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置

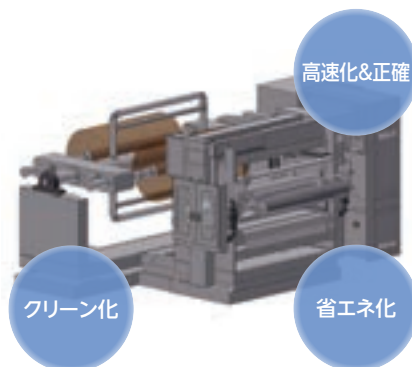


<第8回高機能フィルム展>2017年4月

2017年4月5日から7日までの期間、東京国際展示場にて開催された世界最大の高機能フィルム産業展である『第8回高機能フィルム展～フィルムテック・ジャパン～』に出展し、国内外から多数のブース来場者を迎えることができました。

当社は巻出し時のスプライス動作時間が従来に比べ70%減(当社比)を実現し、省力化かつ高速化と正確性を兼ね備えた、「バットスプライサー i-CC-15(特許取得)」をパネル出展し注目を集めました。

また、ウェブハンドリング技術を駆使して、フィルムやシートの安定走行をサポートする「グリップフィード装置(特許出願中)」も紹介し、好評を得ました。シンプルな構造を実現したこの装置は、運転支援システムによるウェブハンドリングの「見える化」を実現し作業の効率化に貢献します。



<連結子会社の合併>2017年4月

2017年4月1日をもってヒラノ光音株式会社と株式会社ヒラノエンテックは合併し、「株式会社ヒラノK&E」として新たにスタートいたしました。

新会社発足を機会に、経営の一層の効率化と事業価値の向上を図り、真空機器の開発強化並びに、繊維機械等の更なる発展に寄与することを目指してまいります。

お客さまに付加価値の高い機能・サービスを提供すべく、社員一同更なる努力をいたしてまいります。

所在地

〒636-0051

奈良県北葛城郡河合町川合101-1



株式会社 ヒラノK&E

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第92期	第93期
	(平成28年3月31日現在)	(平成29年3月31日現在)
資産の部	29,759	33,714
流動資産	23,359	26,398
固定資産	6,399	7,316
有形固定資産	3,310	3,952
無形固定資産	99	111
投資その他の資産	2,989	3,252
資産合計	29,759	33,714
負債の部	8,790	10,574
流動負債	7,645	9,119
固定負債	1,144	1,454
純資産の部	20,969	23,140
株主資本	20,927	22,847
資本金	1,847	1,847
資本剰余金	1,339	1,339
利益剰余金	18,147	20,068
自己株式	△ 407	△ 407
その他の包括利益累計額	42	292
その他有価証券評価差額金	317	504
退職給付に係る調整累計額	△ 275	△ 211
負債純資産合計	29,759	33,714

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第92期	第93期
	(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)	(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,985	△ 344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 869	△ 893
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 418	165
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 1
現金及び現金同等物の増減額	2,699	△ 1,073
現金及び現金同等物の期首残高	9,521	12,220
現金及び現金同等物の期末残高	12,220	11,147

連結損益計算書

(単位：百万円)


科 目	第92期	第93期
	(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)	(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
売上高	18,335	19,651
売上原価	14,429	14,906
売上総利益	3,905	4,745
販売費及び一般管理費	1,955	1,723
営業利益	1,950	3,021
営業外収益	105	86
営業外費用	22	32
経常利益	2,034	3,075
特別利益	—	7
税金等調整前当期純利益	2,034	3,083
法人税・住民税及び事業税	730	771
法人税等調整額	△ 26	29
当期純利益	1,330	2,281
親会社株主に帰属する当期純利益	1,330	2,281

配当のお知らせ

当期の利益配当金につきましては、1株当たり普通配当金16円（中間配当金12円と合わせて、年間配当金は1株当たり28円）とさせていただきます。

会社の概要

(平成29年3月31日現在)

社名	 株式会社 ヒラノテクシード
英文社名	HIRANO TECSEED Co.,Ltd.
創業	昭和10年6月1日
設立	昭和24年7月25日
資本金	1,847,821,888円
従業員数	241名
事業所 本社	〒636-0051 奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1 電話 (0745) 57-0681
東京支店	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町一丁目16番地 (ヒューリック神田ビル3F) 電話 (03) 5289-8834

役員

取締役社長 (代表取締役)	岡田 薫
常務取締役	定安 一男
取締役	安居 宗則
取締役	金子 二雄
取締役	岡田 富美一
取締役 (常勤監査等委員)	田澤 憲二
社外取締役 (監査等委員)	高谷 和光
社外取締役 (監査等委員)	田中 寛治郎
社外取締役 (監査等委員)	木村 規久男

子会社

ヒラノ技研工業株式会社	(産業用機械器具製造)
株式会社ヒラノエンテック	(繊維機械等部品製造)
ヒラノ光音株式会社	(真空装置等製造)

※平成29年4月1日、ヒラノ光音株式会社と株式会社ヒラノエンテックは合併し、株式会社ヒラノK&Eとなりました。

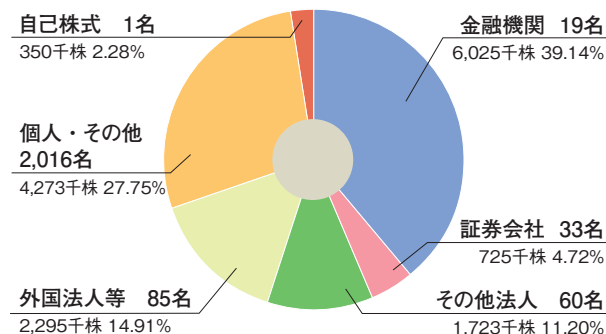
株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	15,394,379株
株主数	2,214名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
	千株	%
明治安田生命保険相互会社	1,450	9.64
ヒラノ会	1,397	9.29
伊藤忠商事株式会社	850	5.65
株式会社三菱東京UFJ銀行	737	4.90
株式会社りそな銀行	731	4.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	704	4.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	679	4.52
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04	645	4.29
立花証券株式会社	437	2.91
株式会社みずほ銀行	300	1.99
株式会社南都銀行	300	1.99

(注) 1. 上記の他、自己株式350,436株を保有しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
証券コード	6245
公告掲載方法	大阪市において発行する日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問合せ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 (通話料無料) : 0120-094-777

※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話(自動音声案内)及びインターネットでも24時間承っております。

電話 (通話料無料) : 0120-244-479 (東京)

0120-684-479 (大阪)

インターネットホームページ : <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

ヒラノテクシード ホームページ

<http://www.hirano-tec.co.jp/>

ホームページで当社の事業活動、商品の案内、投資家情報などに関する詳しい情報をご覧ください。ぜひご活用ください。



この冊子は、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。